

RKU Today

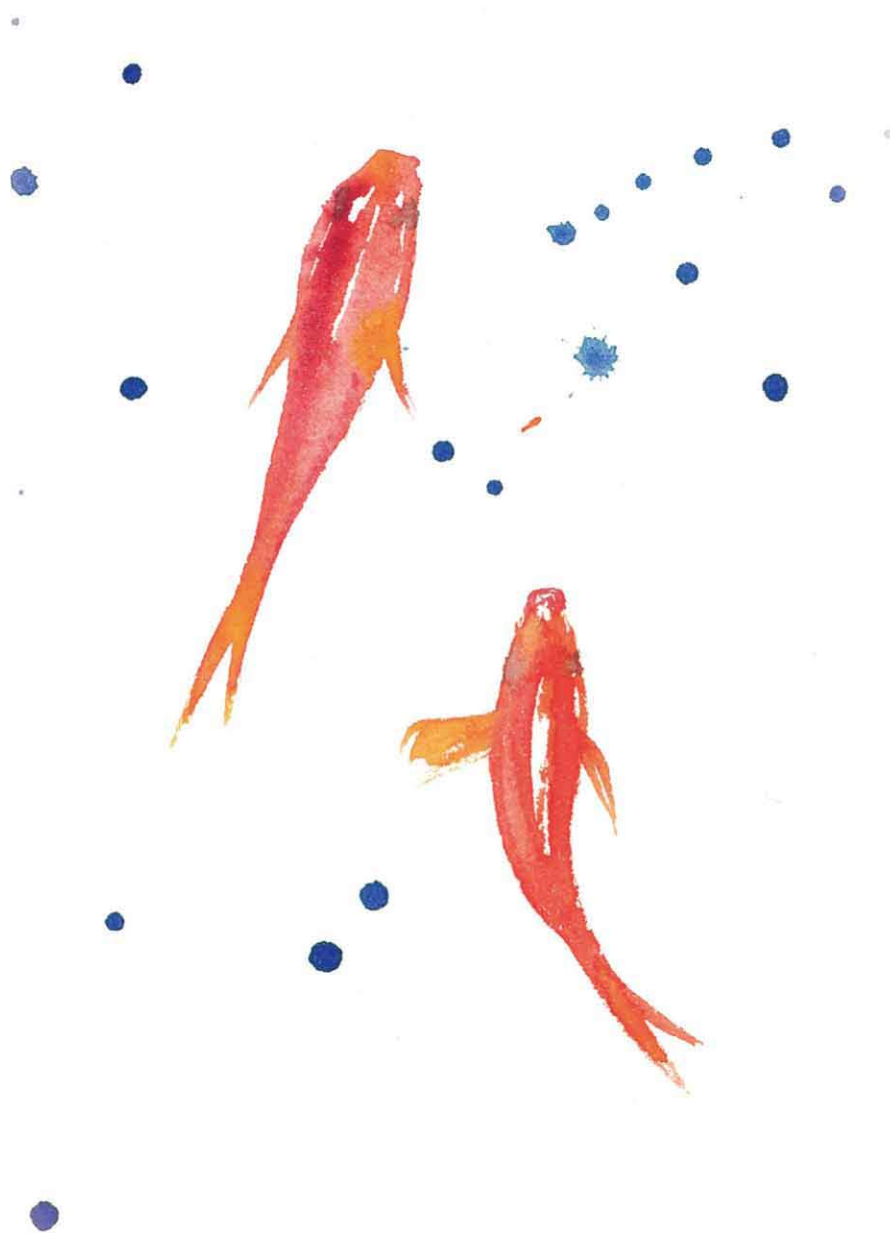
流通経済大学広報誌

SUMMER 2012

【特集】

学生時代に企業を学ぶ

キーワードは「産学連携」と「ロジスティクス」



流通経済大学

vol.20

04 【特集】 文: 増田悦夫(流通情報学部学部長) / 矢野裕児(流通情報学部教授)

学生時代に企業を学ぶ

キーワードは「産学連携」と「ロジスティクス」

08 【学長室だより】 小池田富男(流通経済大学学長)

「大学設置基準」の大綱化と教育改革

10 【連載】 英語のなかに歴史を読む 第3回 石田 謙(経済学部教授)

中世ロンドンの暮らしを伝える言葉 part2

12 Close Up! 流通経済大学

[教職員紹介]

14 【馬場啓一のRKUウォッチング】 文: 馬場啓一(法学部教授)

「『入試結果』も『ラグビー』も目標は高く…」 吉村 聡 教授

16 【OB/OG 訪問】 立川が聞く。 取材: 立川和美(社会学部准教授)

小野有之さん (1985年3月卒業・株式会社ニューオータニ勤務)

18 【留学生紹介】 取材: 沖野雅広(企画広報室)

ファム・トアン・タンさん(ベトナム出身) 「『新聞奨学生』という環境が、 自分の能力を伸ばしてくれたと思います」

19 新任教職員紹介

20 2012年度後援会総会 報告

22 NEWS & TOPICS

2012年度入学式 / RKU WEEK / 交換留学生受入式
岡野功名誉教授が名誉市民に / 青春祭 / ロンドン行き決定



小学校、中学校、高等学校では、カリキュラムがしっかり決められ、教師はそれに従い、教える。基本的に、生徒に選択の余地はない。しかし大学では違う。学生は、学ぶため教わるため、入学する。すべて自己裁量である。学生と、生徒の違いだ。だから好きな科目を学生は自由に選べ、一定の制限はあるが、教師を選択できる。さらには、師弟の礼を踏まえた上で、その希望や要求を訴える権利がある。学びたい、という欲求を満たすためならこれは許される。諸君は学ぶため、本学にきている。これらに留意し納得し、覚悟を胸に、励んでいただきたい。

【特集】 学生時代に企業を学ぶ

キーワードは「産学連携」と「ロジスティクス」

みなさんは、「ロジスティクス」という言葉をお聞きになったことはありますか。商品の生産や販売などビジネスを営むどのような企業においても存続・発展のために不可欠なものなのです。震災時に、みなさんが必要なものを届けるというのも、ロジスティクスの重要な課題です。ロジスティクスを教育の柱とする流通情報学部では、産業界と連携したいわゆる「産学連携」体制を構築し、充実した教育を推進しています。今回はその概要を紹介いたします。

文：増田悦夫（流通情報学部学部長）／矢野裕児（流通情報学部教授）



産学連携の取り組みの背景

現在、産学連携は当たり前のようになっていわれています。全国の大学の多くは、産学連携を実施していますが、そのなかでも、流通経済大学は一九六五年の設立時から、実学に特化した教育に取り組んできたということで、時代の流れを先取したともいえます。

流通情報学部では、二〇〇〇年代以降、産学連携教育の各種取り組みを積極的に実施してきました。その背景として、学部が柱としているロジスティクスの内容が、企業の実際の動きに非常に密接したものであり、実践的なものだということがあります。

しかしながら、学生がロジスティクスを学ぶ場合、企業での就業経験がなく、わかりづらいつらという側面もあります。そのため、学生の学修意欲を高め、またロジスティクスに対する理解を深めるためには、企業現場の事例を豊富に含む実践的な科目をカリキュラムに導入することが求められていました。



ビジネスに不可欠なロジスティクス

私たちは、コンビニや自販機でいろいろな種類のお弁当や冷えたペットボトルを、いつでも手頃な価格で、買うことができます。あるいは、回転ずしなどに行つて、世界中から運ばれる新鮮な魚介類を食べることが出来ます。このような生活の当たり前を支えているのが「ロジスティクス」です。「ロジスティクス」とは、平たく言えば消費者が必要とするものを、適切な時に、適切な量を

を、適切な状態で、できるだけ少ないコストで提供できるようにすることです。メーカー、卸売業、小売業さらにサービス業などの企業のビジネス活動において非常に重要な営みであることが理解できるでしょう。各企業は、ロジスティクスを重要な経営戦略と考えています。また、グローバル化の進展、情報システム化の進展に伴って、各企業は最先端のロジスティクスのシステムを構築しようとしています。例えば、私たちが、インターネットで商品を頼むと、日本あるいは世界中の商品がす



国によるプログラムの認定

流通情報学部が、二〇〇〇年代以降取り組んでいた産学連携教育の内容を、さらに将来的に目指した方向性は、国からも高い評価を受けました。日本のサービス業の人材育成において、重要なプログラムであるということで、経済産業省から「産学連携人材育成事業（サービス人材分野）」に認定されました。

経済産業省の二〇〇八、二〇〇九年度の二年間にわたるプロジェクトでは、産学連携を図りながら、ロジスティクスに関連する多くの優秀

な人材を、社会に輩出するためのプログラム開発・構築に関して、業界団体、企業のロジスティクス担当者、本学の教員と一緒に、検討を行いました。ロジスティクス人材に対するニーズは、いずれの産業においても高いことが確認されました。その一方で、一般的な学生の多くが、ロジスティクスに対する認識が低く、関心がないことが問題だという指摘が企業等から多くなされ、ロジスティクスに対して興味を持つ人材育成教育の要望が多くなされました。専門知識の習得と並んで、興味や関心を持たせる工夫の必要性が指摘されました。

このような考え方に基づき、ロジスティクスに関する人材育成プログラムの具体的な内容、産学連携による進め方、教育方法およびそれを支える組織の構築も含めた運営方法について、検討・整理を行い、現在のプログラムの骨格ができました。



産学連携プログラムの体系化

産学連携教育についての試みは、現在、様々な大学でなされていますが、単に企業の講師が、オムニバスのに講義をする場合が多く見受けられます。また、企業従業員の自慢話に終わってしまうような場合も多いようです。

産学連携教育をきちんと進めていくためには、体系的な講座設定が必要となります。企業の実例を本質的に理解するために必要となる理論的な背景や概念と実例、すなわち理論と実践のバランスのとれたプログラムが必要となります。

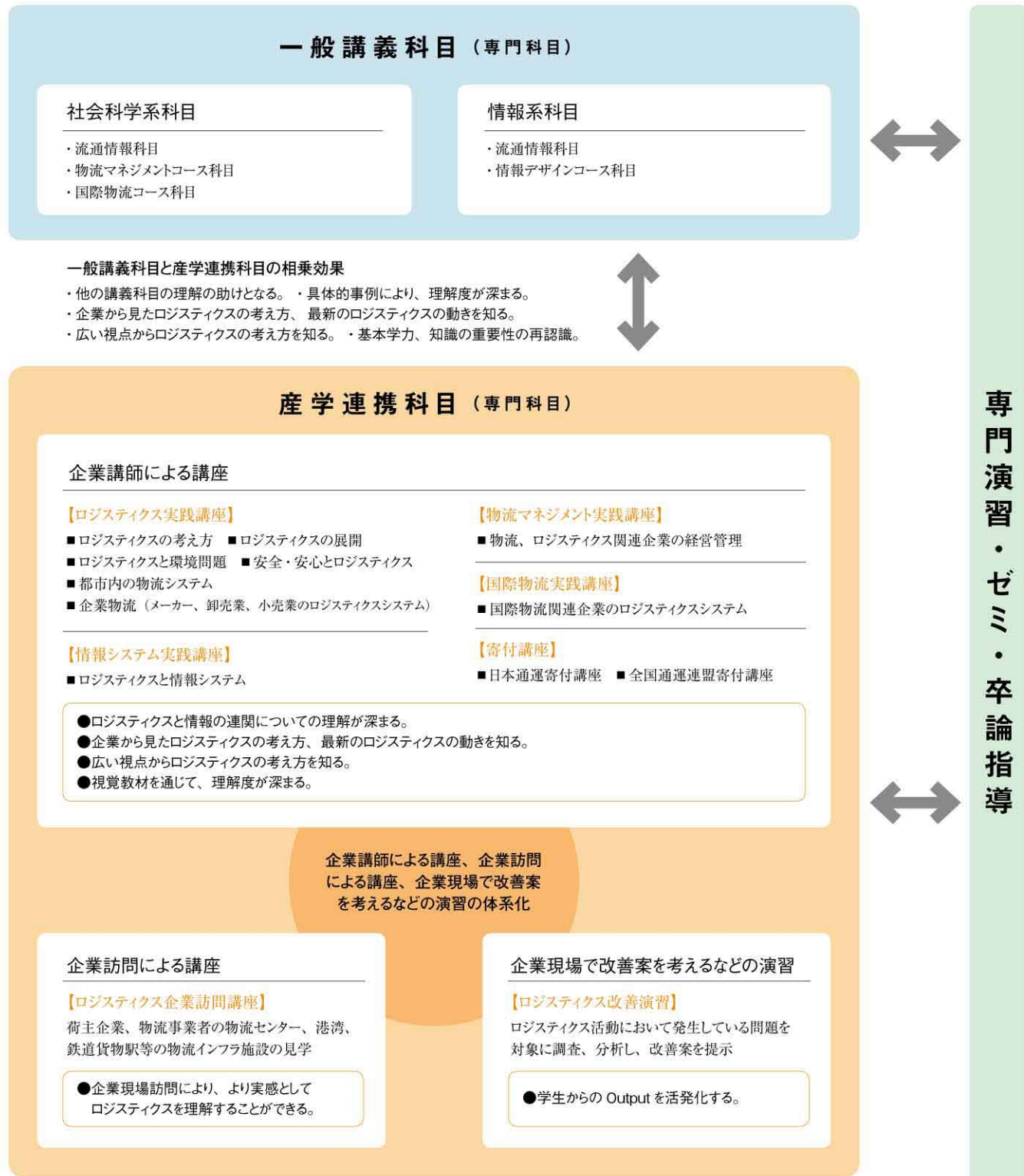
流通情報学部の産学連携教育の大きな特徴は、体系的にかつ継続的な改善を実施していることです。産学連携科目は、従来の講義科目と連動させた講座設定を行っています。さらに、企業講師による講義形式の講座だけでなく、実際に企業現場を訪問する講座、企業現場をみて、さらに現場をどのように改善を行っているべきかを考える演習で構成されています。また、日本通運等数多くの企業で仕事を体験できるインターンシップ制度も用意されています。

ぐに自宅に届くのは、このようなロジスティクスのおかげです。ですから、ロジスティクスに関心を持ち、知識、技能を身につけることは、将来、メーカー、卸売業、小売業、サービス業、運輸業、物流業などあらゆる企業に就職する学生にとって非常に重要な学びとなります。ロジスティクスは、多様な商品多様な形状、運ぶための多様な手段とりまく多様な環境というように考慮すべき要因が多くあります。さらに、時間とともに状況も変化していきますから、課題に対する最適な答えを一筋縄では導けないという奥深さがあります。

流通情報学部では、ロジスティクス教育に力を入れており、物流マネジメントと国際物流のコースがあります。各関連科目について、一定単位数以上の履修等の条件を満たすと、コース修了の認定がなされます。



産学連携科目の構成



産学連携科目の主な講師、訪問場所

講座名	講師・訪問先
ロジスティクス実践講座	花王、ニチレイロジグループ、国分、三菱食品、ハウス物流サービス、みずほ情報総研 ほか
物流マネジメント実践講座	JR 貨物、川崎陸送、金方堂運輸、ヤマト運輸、野村総合研究所 ほか
国際物流実践講座	東芝物流、日本郵船、全日空、日本通運、住友商事 ほか
情報システム実践講座	日本ユニシス、日本ロジスティクスシステム協会、日本パレットレンタル、光英システム ほか
ロジスティクス企業訪問講座	味の素、花王、ハウス物流サービス、ドン・キホーテ（センコー）、マツモトキヨシ（丸和運輸機関）、ファンケル、東芝ロジスティクス、東京貨物ターミナル ほか

受講生からの評価

産学連携科目では、受講生に対して詳細な授業アンケートを実施しています。その結果、学生からの評価も非常に高くなっています。講義内容が充実していたという回答は九二・五％にのぼっています。さらに、重要なことは、従来の講義科目と補完関係にあるということです。他の講義科目を理解するのに役立つという回答が八三・八％になっています。一般の講義科目は、理論が中心となりますが、企業講師による事例、実際の体験を含めた講座は、学生にとっては、様々な理論が、実際の企業においてどのように使われているのか、そして理論だけでは理解しにくい内容を、より具体的に理解することにつながります。

キャリア教育としての産学連携科目

今の学生は、収入が安定した仕事を求める傾向が強い一方で、自分にとって楽しい仕事、自分の専門知識や能力がいかにせる仕事を理想と考えています。しかしながら、学生時代には社会との接触の機会が少なく、どのような職業に就くか、会社に勤めることはどういうことなのか、漠然としている学生が多いのが現状です。

仕事の内容に興味を持ち、そこで働きがいを感じるということは、若い人にとって、とても重要なことです。産学連携教育は、専門的な知識を得るといっただけではなく、将来に向けて、自分の仕事をどのように考えるのか、キャリア教育としての側面も重要であり、将来の就職にも大きく影響します。産学連携科目では現在現場で働いている実務者の方に多く来ていただいています。そこでは自分がどのような気持ちで業務に携わっているのか、そして業務に対する情熱というものが語られることも多くなっています。このような講師の熱心が伝わったという意見も、学生アンケートで高い比率になっています。そして、ロジスティクスの奥深さ、おもしろさを伝えることにもなります。



産学連携科目を受講した学生の感想、意見

「海外や国内の物流について学び、すごく楽しかった。他には真似できないビジネスモデルを考え実践していくためには、先を見て行動することが重要であることが分かった」

「今まで何気なく利用していた宅配便が、実は様々な細かなネットワークで構築され、工夫されていることに深く感心した」

「実際の現場で、物流戦略を担当している人の話を聞くことができて良かった。これからの物流が、どのようになっていくのかが興味深かった」

「顧客に1日でも早く新しい商品を提供できるように、様々な方法で行っていることが分かった」

「1日で東日本の各地に物品が到着できるようにするために、どのようなシステムになっているのかを詳しく知りたくなった」

コンソーシアムの立ち上げ

産学連携教育を、円滑に進め、よりよいものにしていくためには、業界団体、企業、企業講師と大学との密な情報交換が必要です。そのため、継続的な組織体制「ロジスティクス産学連携コンソーシアム」を、二〇一〇年度より立ち上げました。

学生からの評価も含めて、具体的な講義内容、教育方法について検討しています。構成メンバーは、業界団体である日本ロジスティクスシステム協会、日本物流団体連合会、全日本トラック協会、全国通運連盟とロジスティクスに関連する企業の十二名、教員を合わせた合計二十八名となっており、年二回、定期的に会合を開いています。

産学連携科目と企業講師

現在実施している産学連携科目は、図のように企業講師による講義形式の「ロジスティクス実践講座」「物流マネジメント実践講座」「国際物流実践講座」「情報システム実践講座」、企業の現場を実際に訪問する「ロジスティクス企業訪問講座」、現場をどのように改善するかを考える「ロジスティクス改善演習」、さらに「日本通運寄付講座」「全国通運連盟寄付講座」の計八科目となっています。各科目を担当している主な講師訪問先は表のとおりであり、業界団体、メーカー、卸売業、小売業、運輸業、物流業、シンクタンクなど幅広い業界の方に、講義をしていただいています。



産学連携教育は、学生にとっては、とてもよい刺激となり、社会を知る上での貴重な経験となります。また、企業の最新の動向を知ることにもなり、このことは、将来社会に飛び立つときにもきっと役立つと思います。

【学長室だより】

「大学設置基準」の

大綱化と教育改革

学長 小池田富男



vol. 13

Tomio Koikeda
Gakuchoshitsu Dayori



少子高齢化とグローバル化、経済の長期的停滞という中で、大学を取り巻く環境は一段と厳しくなっております。しかし、首都圏の各大学が受験者数を減らしている中で、本学がここ数年飛躍的に受験者数を増やすことができたのは、積極的な広報活動や、学生の課外活動等で本学の知名度が高まったこともありですが、何より本学の堅実な教育と研究に対する評価と期待によるものと考えております。首都圏にある中規模総合大学として、その実力が認知され始めたところでしょうか。

いままでもなく「大学の實力」は、教育と研究の実績にもとづいて評価されなければなりません。本学ではこの間、学会の最先端で活躍し博士の学位を持った若手の教員を多く採用することで、研究活動の活性化を図ってきました。また教育においては、就職実績を引き上げ、IT化やグローバル化に対応した「教育の質保証」を図るために、全学をあげてFD活動を積極的に進めております。教科ごとに教育目標を設定し、その達成度評価を行うことで授業改善を図る、いわゆる「PDCAサイクル」が、

程の中にどう組み込むかについては、それぞれの学部の特性を生かした工夫を凝らすことが必要です。「大綱化」によって要求される新たな「教養教育」は、旧「基準」のような単純に幅広い知識の修得（一般教育）ではなく、それぞれの学部の教育目標にかなった基礎知識の修得と、「豊かな人間性」を身に付けさせる教育であるだけに、どのような科目をどう教えるのが良いかについて周到に準備されたプログラムが必要です。また、社会人として要求される課題発見能力や論理的思考力、コミュニケーション能力等の社会人基礎力を磨くために、ゼミナールでの論文作成等の指導が効果的でしょう。

少子高齢化とグローバル化、経済の長期的停滞という中で、大学を取り巻く環境は一段と厳しくなっております。しかし、首都圏の各大学が受験者数を減らしている中で、本学がここ数年飛躍的に受験者数を増やすことができたのは、積極的な広報活動や、学生の課外活動等で本学の知名度が高まったこともありですが、何より本学の堅実な教育と研究に対する評価と期待によるものと考えております。首都圏にある中規模総合大学として、その実力が認知され始めたところでしょうか。

本学でもようやく軌道に乗り始めたところですが、

ただ本学の入試状況が大幅に改善され、基礎学力の高い学生が入学してくるようになったことで、今後は大手大学と競合することが予想されます。それゆえ、現在進めているカリキュラム改革を通じて、徹底した教育内容及び教育方法の刷新を図り、他大学にはない独自の教育プログラムを構築して差別化できなければ、将来はむしろ厳しいものになると考えられます。何を、どこまで、どのように教えるかについて、これまで以上に個々の教員に任せるのではなく、学部及び学科が責任を持つてマネジメントする必要があるでしょう。

これらの教学改革を側面から支援するため、本学では来年度から、英語・数学・国語の基礎学力があり、かつ入学後の学業成績が優秀で人格的にも優れた学生について、毎年五〇名ほどを給費奨学生として採用し、優先的な就職支援も視野に入れて徹底した指導を行う予定で準備を進めています。そのためには、GPA制度の導入も必要です。また入学者の増加に伴い、新松戸キャンパス等の拡充も計画しておりますが、こうした教育内容の充実とキャンパスの拡充を着実に進めていくことで、本学の次の五〇年に向けた飛躍と発展を可能にできると考えております。

意味があり、中途半端なものに終わらせる訳にはいきません。それは、「大学設置基準」の大綱化と、3・11後のわが国の社会経済の変化を踏まえた、本格的な教学改革として位置付けております。

まず、各学部のカリキュラムがそれぞれの「教育目標」にとって有効な体系性を備えているか、各教科もそれにふさわしい内容を備えているかについて、徹底したピア・レビューが必要でしょう。また、学生に自発的学習を課する「単位制度の實質化」にかなうシラバスや授業運営になっているかも、精査されなければなりません。専門であれ教養であれ、自由選択科目は必要な範囲にとどめ、むしろコア科目を充実させて、教育の効果をあげるべきです。現行の4段階評価からS/A/B/C/Dの五段階評価への移行による成績評価の厳格化も、教育のレベルアップのための有効な手段となるでしょう。またグローバル時代にあつて、全ての学生に一定レベル以上の英語教育を施さなければ、社会から認知されなくなります。

ところで、「教養教育」と「専門教育」を各学部の四カ年の教育課

程の中にどう組み込むかについては、それぞれの学部の特性を生かした工夫を凝らすことが必要です。「大綱化」によって要求される新たな「教養教育」は、旧「基準」のような単純に幅広い知識の修得（一般教育）ではなく、それぞれの学部の教育目標にかなった基礎知識の修得と、「豊かな人間性」を身に付けさせる教育であるだけに、どのような科目をどう教えるのが良いかについて周到に準備されたプログラムが必要です。また、社会人として要求される課題発見能力や論理的思考力、コミュニケーション能力等の社会人基礎力を磨くために、ゼミナールでの論文作成等の指導が効果的でしょう。

これらの教学改革を側面から支援するため、本学では来年度から、英語・数学・国語の基礎学力があり、かつ入学後の学業成績が優秀で人格的にも優れた学生について、毎年五〇名ほどを給費奨学生として採用し、優先的な就職支援も視野に入れて徹底した指導を行う予定で準備を進めています。そのためには、GPA制度の導入も必要です。また入学者の増加に伴い、新松戸キャンパス等の拡充も計画しておりますが、こうした教育内容の充実とキャンパスの拡充を着実に進めていくことで、本学の次の五〇年に向けた飛躍と発展を可能にできると考えております。

「大学設置基準」の大綱化

平成3年6月3日に公布された「大学設置基準の一部を改正する省令」（平成三年文部省令第24号）によって、各大学がそれぞれの教育理念と目的にもとづき、学術の進展や社会の要請に適切に対応しつつ、特色ある教育研究を展開しようとする「大学設置基準」が大綱化され、制度の弾力化が図られた。具体的には、教育課程について、「一般教育科目」や「専門教育科目」等の授業科目の区分に関する規定が廃止され、各大学の各学部は独自の工夫と考え方にもとづいて、学部等の専攻に係る専門教育と、幅広く深い知識と豊かな人間性を涵養する教養教育とを、4カ年のカリキュラムの中で編成しなければならなくなった。

【学長の活動】 2012年4月～6月

- 4月**
- 1日 平成24年度入学式
各役職者辞令交付式
新任教員研修
- 7日 付属柏高等学校入学式出席
- 10日 教員免許更新講習実施委員会
交換留学生受入式
全学入試協議会
- 17日 城西国際大学20周年記念式典出席
- 28日**
- 5月**
- 1日 情報環境検討に関する諮問委員会
全学カリキュラム改革中間報告会
- 2日 付属柏高等学校3年生来訪
- 7日 小野寺茨城県教育長来訪
- 8日 学部長連絡会議
全学合同新任教員歓迎会出席
- 22日 大学協議会
- 23日 明秀学園日立高等学校3年生来訪
- 24日 学校法人日通学園理事会・評議員会出席
- 28日 第74回国民体育大会茨城県準備委員会
設立総会出席
- 6月**
- 1日 県立石岡商業高等学校原田校長来訪
- 5日 学部長連絡会議
- 9日 日本体育大学新キャンパス竣工式出席
- 12日 高等教育の振興に関する協議会(新松戸)
- 19日 全学教員会議
- 26日 大学協議会
- 27日 茨城県高等学校長協会拡大研修会講演
- 30日～ 社団法人日本私立大学連盟学長会議出席

もし中世のロンドンを訪れることができたら、首から丸いものをぶら下げた男が、櫛くしに乗せられて通りから通りへと演奏付きで引き廻まわされている光景に出会うかもしれない(図1)。実はこの男はパン屋で、首に掛けられているのは彼が焼いたパンである。中世ではパンは文字通り「命の糧」(bread of life)であったから、ロンドンに限らず中世の都市では、パン屋の作るパンの品質や重さは細かく規定され、これを守らなければそのパンを首に掛けてさらし台に立たされ、悪質な場合は櫛に乗せられて市中を引き廻され、群衆の面前で辱めを受けたのであった。そこで、量目不足を恐れたパン屋は、おまけをつけて売るようになった。中世のロンドンでは、パンをはじめとする庶民の食べ物も多くは行商を生業とする貧しい女性たちが小路から小路へと売り歩くのが一般的だったから、パン屋はみずから小売りをする一方、行商人にも二個分(二ダース)の代金で二三個のパンを卸売りしたのである。彼女たちに二個につき一個おまけをつけることで、量目不足の罰を逃れようとしたわけである(おまけの一個は量目不足を避けるためというより、行商人の儲けにするためのものとする説もあるが、「二個分の価格で二三個のパンが売られていた」という事実には違いない)。

生み出し、さらにそこから give a baker's dozen (パン屋の「ダースを与える」という俗語も生じて、「もう一つおまけに殴つてやる」という意味で使われるようになった)と。ところで、量目不足が発覚して櫛に乗せられ市中を引き廻されたパン屋の中に、後日、「検査されたパンは、焼き上げたあと時間がたつて乾燥して軽くなってしまったのだから(規定では、窯から取り出した焼き立てを検査する決まりだった)、引き廻しは不当だ」と言い張った者がいた(一三七八年)。ところが、そのパン屋の主張がまったくの嘘偽りであったことが明らかにされたため、この男は、今度はパンではなく図2のような砥石(whetstone)を首にかけて一時間さらし台に立たされることになった。

このパン屋に限らず、伯爵の息子と称して人々から金品を騙し取った男など、ロンドンでは砥石を首から下げてさらし台に立たされた者の記録が数多く残されているが、これは「嘘つき」にくだされた処罰であった。この刑罰は、最大の嘘をついた者に「舌を砥いで嘘の技術をさらに磨くように」と砥石が贈られた古来の行事にもとづくといわれ、砥石は嘘つきの象徴なのであった。deserve the whetstone (砥石に値する)とか lie for the whetstone (砥石のために嘘をつく)という表現は大きな嘘をつくことを意味しているが、それは、首から砥石をぶら下げて曝し者にする、中世のこの奇妙な刑罰に

由来しているのである。

刑罰といえは、夜中に街頭をうろついている者は治安を乱す不審人物として捕えられ、その形が似ているところから俗に(大樽) (dun)と呼ばれた留置所(図3)に拘置されるのが中世ロンドンの慣わしであった。この(大樽)は、そうした夜間徘徊者用の留置所として一三世紀の末に建てられたが、不正を働いたパン屋や売春にかかわった者の留置所としても活用された。英語で「丸い建物」(roundhouse)という表現が留置所を意味することがあるが、それは、ほかならぬロンドンのこの(大樽)に由来している。

ところで、櫛に乗せられたパン屋が引き廻されたロンドンの目抜き通りの中でももっとも賑やかな大通りはチープ(Cheep、のちにCheapside)と呼ばれ、そこは同時に商取引が活発に行われていた市場でもあった(図4)。チープと聞くと「安い」という訳語を思い浮かべがちであるが、cheapには本来「安い」という意味はない。市場でもあったロンドンのCheepは「取引、売買」を意味する古英語の ceap に由来している。cheap 本来の意味をとどめた地名なのである。

ちなみに、「安い」という意味が cheap に生じたのは、buy good cheap (良い取引、買う+安く買)という表現から buy good が省略され、一六世紀以降 cheap だけが「安い」という形容詞として独立したためである。ロンドンの通りの名称には、Cheap のよう

に我々日本人にとってはすぐには由来がわかりにくいものが少なくないが、たとえば、Friday Street (金曜通り)と Stew Lane (チーフ小路)も、そんな街路の一つである。「金曜通り」に使われている金曜日(Friday)はキリストが磔の刑に処された日であり、カトリックでは肉食が禁じられた日であった。そこで人々は金曜日にはもっぱら魚を食べ、金曜日は魚のイメージと結びついた曜日となった。ロンドンでは多くの魚屋(図5)がテムズ河の魚の荷揚げ場に近いこの通りに住いを構え、金曜日にはここで様々な魚が売られたため、この通りが Friday Street と呼ばれるようになったのである。

また「シチュー小路」のシチュー(stew)も、日本人がイメージしがちな料理のシチューとは無縁である。stew の原義をたどると「蒸す」や「蒸気」に行き着くが、ここから stew は「蒸し風呂屋」(図6)を意味するようになった(料理のシチューも煮込んで蒸気がでることと由来)。さらにここで売春行為が行なわれたことから、stew には売春宿の意味も生じた。中世のロンドンにも売春宿としての蒸し風呂屋がいくつもあったが、この小路に建っていた一軒の蒸し風呂屋の存在が Stew Lane すなわち「売春宿小路」という街路名をもたらしただけであった。

こうして、何気ない英語の表現や地名の中に、中世ロンドンの暮らしの一端が垣間見えるのである。

[連載] 英語のなかに歴史を読む (全4回)

Yuzuru Ishida 石田 譲 (経済学部教授)

何気ない英語の単語やフレーズのなかに秘められた昔の人々の思いがけない暮らしのありようを読み解いてみよう。

— 第3回 — 中世ロンドンの暮らしを伝える言葉 part 2

1



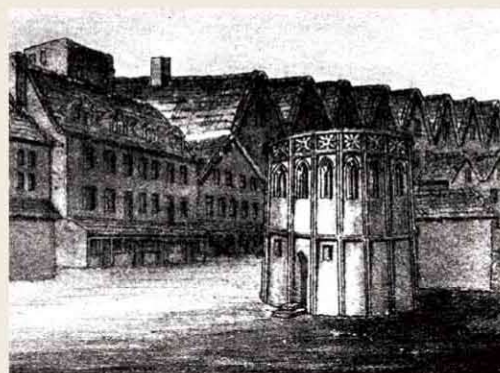
櫛による市中引き廻しの刑罰(13世紀末)
手足を縛られ、首に量目不足のパンを掛けられている。
H. T. Riley ed., *Munimenta Gildhallae Londoniensis* (1862),
Vol.III, frontispiece

2



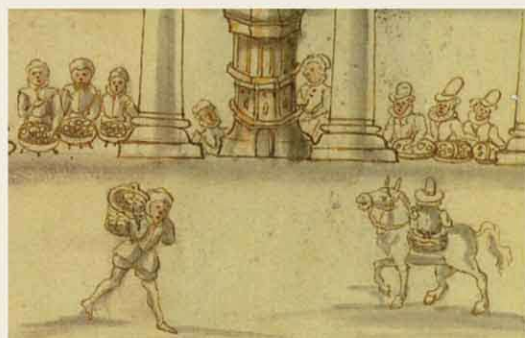
中世ロンドンから出土した砥石(12世紀)
腰のベルトから下げられるように、革ひもを通す穴があけられている。左の大きい砥石で長さ約19cm。
London Museum, *Medieval Catalogue* (1940), PLATE XCV

3



ロンドンの(大樽)
Walter Besant, *Mediaeval London* (1906), Vol.I, p.355

4



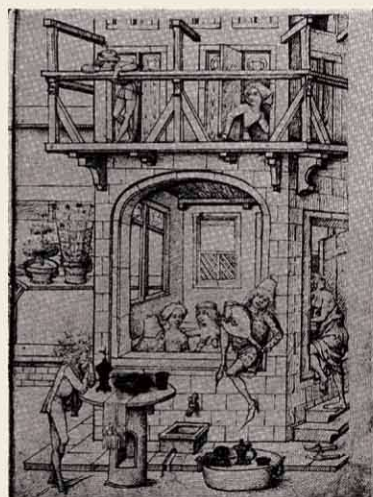
チープ市場
「チープ市場」を描いた1598年の図版の一部。後方に描かれているのは地方から出てきた物売りたち。
I. Archer and others, eds., *Hugh Alley's Caveat* (1988), Plate II

5



中世の魚屋
J.J. Bagley, *Life in Medieval England* (1960), p.54

6



中世の蒸し風呂屋(売春宿)
E. J. Burford, *Bawds and Lodgings* (1976),
To face p.65



[新松戸事務センター学務担当課
(教育学習支援担当)]

高梨祐太郎 職員

旅に出よう!

日々、教育学習支援業務を行う上で色々な事を学生たちから相談されます。授業の事や、バイト先での事、友人関係や、恋愛など毎日話題の尽きることがありません。そんな相談の中で、「もっと楽しい事ないかな」と相談されることがあります。どういう意味かと尋ねると、せっかくのキャンパスライフを人より違う事をして楽しみたいと言うのです。

その話になると必ず旅を薦めています。というのも、国内・海外問わず一人フラフラと、目的地までの時間と行動はお金が尽きるまで自由に…そんな旅の経験は大学生の時しかできない特権だからです。世界中と繋がる今だからこそ、いつでも世界の最新情報を手にすることができます。けれど、自分の力で旅をするか、というとなかなか一歩が踏み出せない、という声も聞きます。ちょっと勇気をだし、旅してみてください。最高の思い出がきっと作れるはずです。

長い休みが明け、新学期を迎えた時、輝きながら体験談を話す学生に出会えることを楽しみにしています。



[スポーツ健康科学部]

高松潤二 准教授

動きのメカニズムを通して
探究心を培う

スポーツバイオメカニクスの分野で博士号を取得後、国立スポーツ科学センター先任研究員を経て本学に赴任。

スポーツバイオメカニクスを中心に授業を担当し、学生からは「理論を実際の動きを通して説明してくれるので理解しやすい」と、大人気である。その背景には「スポーツ運動に見られる人間や用具の動きのメカニズムであるとか、優れたスポーツ技術とはなんだろうか?ということについていつも考えています。学問的なことと言えば、私自身がそれ自体を楽しんでいることが授業などを通して伝われば良いと思っています。それ以外は人としての“学び方”を在学中にどうやって手渡すことができるのかを常に考えています」と本人は語る。学生の人気はこの思いがあるからだと言っている。

現在、2児の父親である傍ら、日本陸上競技連盟と日本水泳連盟でトップアスリートの科学的な調査やパフォーマンス分析を行っている。

高松先生の授業を通してトップスポーツの世界に触れてみるのも面白い。

(荒井宏和・記)



[法学部]

井川信子 教授

今もなお、
「キャリア」形成中です

主な担当科目は「教養基礎科目の数学」、「法とキャリア(総合1)」です。数学は世の中であまり役に立たない特殊な教科に思われがちですが、案外そうでもないということをお伝えしたいと思いつつ授業に取り組んでいます。そして、数学を履修希望する学生諸君の多様なニーズに応えるために、学生参加型の魅力ある授業を実施するべく教材研究や授業計画に日々明け暮れています。

また校務としては今、入試委員を担当していますので、週末に実施されるオープンキャンパスなどで学部や学生アドバイザー諸君とともに、高校生やその付添いのご父兄に、本学における教育(授業)やキャンパスライフを、より多くの受験生に本学を志望してもらうよう、ひたすら、紹介しています。その教育面での魅力を伝えるのが、特に私の役割です。

このように、オープンキャンパスなどでお話しした高校生諸君が本学に入学後、ときどき、キャンパス内で声をかけてくれることを励みに、今年も、がんばっています。



[流通情報学部]

蜂谷博 教授

コンピュータ・プログラム
開発は、失敗の連続

私がコンピュータと出会ったのは1967年頃で、コンピュータはまだ普及しておらず、当時は機械語によるプログラム作成の時代であった。プログラムの開発という仕事は100回の失敗をしたのちに成功に辿り着くようなものである。運が良ければすぐに成功することもあるが、悪ければ99回失敗した後にやっと辿り着く。プログラミングの達成感とはさんざん失敗した後にやっと成功した時が大きい。その面白さに惹かれてコンピュータ・プログラミングに取り組んできた。

21世紀はソフトウェアの時代である。2011年3月11日の東北大震災と原子力発電所の事故以来、日本はエネルギーを多量に消費する時代から、節電と省エネルギーの時代に入った。省エネルギーの切り札は、スマートグリッド・スマートメータ・HEMS・BEMS技術である。電力の使用量をリアルタイムに測定し、ピーク時のエネルギー消費を平準化する技術である。そのためのソフトウェア開発は次世代の日本の技術を育ててゆくであろう。



[社会学部]

松田英 教授

世界語としての英語

1978年4月、「英語」を担当する教員として本学経済学部(当時はまだ1学部2学科の大学でした)に赴任しました。経済学部の生田先生、石田先生と一緒に過ごした。その後、スポーツ健康科学部のスタートとともに同学部に転籍し、さらに2011年度からは社会学部国際観光学科の一員となりました。現在は、国際観光学科で「観光英語」「西欧文化論」「アメリカ文化論」「観光研修」「専門演習」を担当しています。授業以外では国際交流センターの仕事をしています。専門は、「14世紀英文学」ですが、興味の対象は「イギリス文化全般」にわたります。その中でも特に「英国王室保護領 Isle of Manの言語と文化」を、ここ数年、そしてこれからの研究テーマにおいています。このIsle of Manも含め、1972年以来40年間、その目的は様々ですが、頻りに海外を旅行してきました。そういった体験を学生諸君に伝える中で、また国際交流センターの仕事を通して、異文化、そして世界語としての英語に対する興味を喚起していければと考えています。



[経済学部]

大岡賢典 教授

じっくり観よう、
と言いつけること

30余年、文学(日本文学)と現代文章論を担当しています。ただ、近頃は後者に比重が移っています。別に担当している教養諸学入門と総合教養講座も、コミュニケーションに関わる内容で運営しているのですから。それは、今日の若者だけに限らないのですが、書くだけではない、話すことを含めた、コミュニケーション能力の低下を痛感しているからです。

それらの能力のなかで、相手の目を見て話すとか、段落をどう設けるかなどの、技術的な欠如はいうまでもない。より深刻なのは、伝えるべきことがないのではないのか、ということ。だから、じっくりと周囲を観察し、関心を広げ、おもしろいと思うこと、伝えるべき価値のあることを見つけよう、と力説することになるのです。

その対象の一つに文学が加えられればなあ、と思いつけているのです。ですが、若者だけではなく、熟年の人々の耳からさえも垂れているイヤホンのコードを目にする時、このことはほとんど声にならない昨今なのです。



●吉村聡/よしむら・さとし

明治大学大学院経営学研究科博士後期課程を修了後、1990年に本学経済学部の専任講師に着任。1993年に本学助教授、2002年には教授へ就任。ラグビー（観戦）及びニュージーランド好きがこじりて、1994年にラグビー部長に就任。2004年には、研究のためニュージーランド南島にあるダニーデンに留学を経験。また、2007年4月より、入試センター長として辣腕をふるいながら、現在に至る。



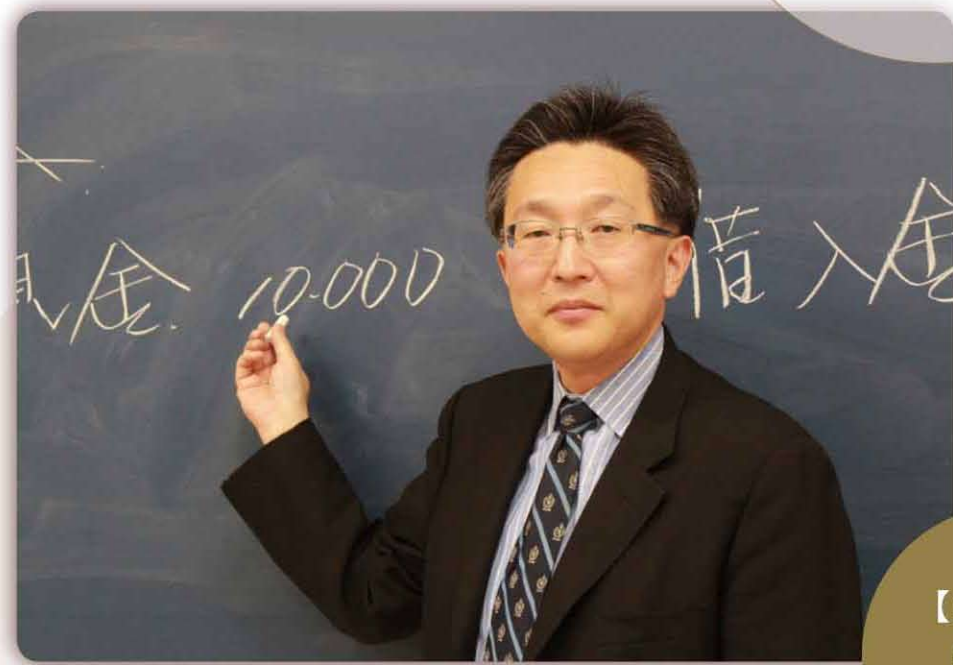
馬場啓一の
RKU
ウォッチング
RKU Watching



Keiichi Baba

いんです」
朗々と響き渡る吉村先生の声は、聞いていてひじょうに気持ちが良い。発声もよろしいのだ。「結果が数字で出る世界、とても表現するのでしょうか、そういう会計学や簿記などの学問と、入試の世界で成績を上げるといふのは、どこかで繋がっているのかもしれない」
なるほどと納得である。「一生懸命入試センターでやっておりますが、唯一の不満は、このために好きなラグビー観戦に専念できないということですね」
センター長に就任される以前は、毎年のようにラグビー観戦のためにニュージーランドを訪れていたという。ご存知オールブラックスの国である。「時差三時間ということもあって、ひじょうに身近な国です。

羊の数が人口四二〇万人の約十倍という、不思議な国でもあります」
そういうラグビー大好き人間が、本学のラグビー部部长であるといふのは、まことに人を得たと言いきらさう。二〇一一年度は見事関東大学リーグで初優勝を果たした。
「次の目標は『国立で会おう』であります。国立競技場で戦いたい。つまりベスト4進出ということですね」
入試センター長として今後もずっと腕を奮っていただきたいが、好きなラグビーのためにニュージーランドに行かせてあげたい、とも思う。で、最後に一言。
「とにかくこれからも、休みなしで元気にやっております。ラグビー部、ご声援よろしくお願いたします。」



Satoshi Yoshimura

【第19回】
経済学部
吉村聡 教授

「『入試結果』も『ラグビー』も
目標は高く…」

おそらく本学で最も忙しい教授、それが入試センター長の吉村聡先生だ。経済学部では会計学を教えておられる。「六年間入試センター長をやっています。かつてと違い、今日の大学入試は通年化していると言えます。すなわち昔は年が明けて一月、二月、そして三月が大学受験のシーズンだったのですが、今は違います。初夏にはオープン・キャンパスが始まり、さらには入試相談会が、これに重なります。以前との最も大きな違いは、一般入試に加えて推薦入試やAO入試といった多様な入試種別が存在することで、入試センターは、極端に言うとも一年間殆んど休みがない状態なのです」

本学で最も忙しい、と書くのはこのためである。「おかげさまで本学の入試の結果は年々向上しており、良い学生が多く集まるようになってきました。スタッフ全員の力の結集が、こういう結果を生んだのだと思います」
私学と国公立を問わず受験生は減少傾向にあり、大学全般の入試状況は決して明るくない。そんな中、我が流通経済大学は着実に受験生の数を増やし、そのグレードを徐々に上げている。同じく教える立場にある身として、これは実感である。「会計学が専門で、簿記なども教えているのですが、この学問は数字の裏にある真実を掴むという意味で、ひじょうに興味深

子供の頃
味わった感動を
多くの人に伝えたくて
ホテルマンを
目指しました。

— 小野さんは高校からラグビーを
されていたと伺っておりますが、本
学に進学された理由もそのあたりに
あるのでしょうか？

高校時代にラグビーをしており
ましたが、流経大を選んだ第一の
理由は、少人数制のきめこまかな
指導を受けられるところに魅力
を感じたからです。ラグビーに関
しては、寮の先輩から熱心に誘わ
れて、根負けして大学でも続ける
ことになりました。

— 大学では、寮に入られていたの
ですか？

そうです。私の実家は神奈川県
藤沢市で自宅からの通学は難し
かったため、一年生から寮生活を
始めました。親元を離れて学生だ
けの生活です。掃除、洗濯、集団

中どこへ行っても、ホテルのスタッ
フはいつも笑顔で親切に接してく
れました。また特に食事のおいし
さには感激しました。その時「ホ
テルとは、感動を与えてくれる場
所だ」と感じたことが、今の仕
事に就くきっかけとなったと思
います。自分の味わったこの感動を、
多くの人に伝えたいと考え、ホテ
ルマンを目指して勉強を始めまし
た。ホテル業界に関する本を読ん
だり、英語の勉強を頑張りました
ね。

— 入社してからは、どのような
お仕事をされたのですか？

入社して最初に配属されたのが、
ニューオータニ東京のレストランの
ウェイターでした。その時の先輩
が、本当に汗だくになって一生懸
命仕事をしている姿を目の当たり
にし、自分の中にあつたホテルの
イメージが一変しましたね。こうい
う努力がお客様の満足につながっ
ているのだということを強く意識
しました。その後は、客室係とし
てお部屋の清掃やベッドメイキン
グを担当し、ベルボーイも務めま
した。海外から大きな団体のお客
様が到着された時は、自分の身長
より高く積み上げられた荷物のワ
ゴンを運ぶなどということもしば

OB/OG訪問

立川が 聞く。

本学在学中はラグビー部で活躍、
卒業後は株式会社ニューオータニ
に入社して各部署のお仕事を経験
され、現在はホテルニューオータ
ニ幕張で管理部門のお仕事をされ
ている小野有之さんにお話を伺い
ました。

第17期生
(1985年3月 経済学部卒業)

小野有之さん
Ariyuki Ono

〈取材〉
立川和美 (社会学部准教授)



行動など、すべてが初めてのこ
とで戸惑うことばかりでした。結
局、三年生の時に寮長になりまし
て、一年生から三年間、寮生活を
送りました。

— 寮は大学の中にあつたというこ
とですから、勉強、ラグビーと大
学生生活を満喫されたのでしょうか？

私の在学していた頃は経済学
部のみでしたが、一年生の田多先
生のゼミでは、専門領域の基礎や
レポートの書き方などをしっかりと
と教えていただき、三年生からは
石田譲先生のゼミで、専門分野を
本格的に学びました。あとはラ
グビーの練習に力を注ぎましたね。
当時は今ほど大きな部ではなかつ
たのですが、北関東大学リーグで
の優勝を目指して、かなりハード

な練習でした。月曜日から金曜日
まで毎日四時ごろから練習で、土
曜日は試合が組まれることが多く、
休みはほとんどなかったですね。

— それでは、アルバイトなどは
あまりできなかったのではないで
すか？

アルバイトは、ラグビーのオフ
シーズンだけです。年末のお歳
暮時期の宅配便のアルバイトを一
年生から三年生まで続けました。
最初は平和島や川口の物流セン
ターでの仕分け作業で、住み込み
で夜勤の仕事をしました。三年目
は実際にそれぞれのお宅に品物を
配達する仕事もしました。大学に
募集が来ていたので、運動部
の仲間と一緒に、楽しい仕事でし
たね。

— 四年生の就職活動を経て、現
在のお仕事に進まれたわけですが、
そのきっかけはどのようなこと
だったのですか？

私は父が航空会社に勤務して
おりましたので、中学生の頃か
ら海外に行く機会がありました。
いろいろと風光明媚な名所に連れ
て行ってもらったのですが、自分
はそういった景勝地の素晴らしさ
よりも、滞在したホテルでの印象
がとても強かったんですね。世界

しばありました。三年間はこのよ
うな現場のオペレーションを経験
し、四年目からは営業の仕事に就
きました。

— それまでとはずいぶん違うお
仕事の内容となったわけですね。

そうですね。私はもともと話
が上手なほうではなかったですし、
二〇代半ばで、大企業の管理職や
役員の方のところへ伺い、直接お
話しする仕事となったので、本当
にプレッシャーと戦う毎日でした
ね。初めの頃は、相手の方が不在
の時は、ホッとしたりすることも
ありましたよ(苦笑)。

社会経験の豊富な、ずっと目上
の方とお話するために、経済や
社会についての勉強をしました。
その後、人事などを経て幕張の
ニューオータニに配属され、五年
目になります。現在はホテルの管
理部門の責任者として、仕事をし
ています。

— ということは、お仕事の内容
は多岐にわたるのでしょうか？

そうですね。たとえば、昨年
は震災や原発事故による風評被
害により、お客様が激減しまし
た。そうした中で、どう利益を
確保していくかを考えることが
最大の仕事です。また、人事採

用なども担当しています。採用
では、ともかく熱意、向上心の
ある人を求めますね。自分がホ
テルの仕事をしていく中でプロ
フェッショナルとして成長して
いくために努力を惜しまない人
材、ということでしょうか。

このように様々な仕事がありま
すが、最終的にすべてが業績とし
て直接出てくる部署でもありま
すので、そうした成果が励みにな
りますね。

— 最後に、本学の学生に一言お
願いいたします。

月並みですが、一つのことにと
ち込む学生生活を送ってほしいと
思います。ゼミでも部活でもアル
バイトでも、何でもいいんです。
一つのことを愚直に追究する、掘
り下げることを心掛けてください。
それから、大学の勉強では自ら課
題を見つけてそれを解決する力が
求められますが、これは社会に出
て仕事をしていく上で最も必要と
されるものです。決して疎かにす
ることなく取り組んでほしいです
ね。大学時代に頑張ったことは、
社会人になって必ず何らかの形で
役に立つものだと思います。



Tachikawa hears.

お仕事柄、物腰やお話しぶりが穏やかで、お荷物を持って下さるなどの
細やかな気配りをされる小野さん
ですが、お写真をお願いすると「いやー、
緊張してしまうんですよ。笑顔が大切
なホテルマンとして、まだまだだ
な」と気さくな一面をお見せになり
ました。最近、お休みの日に2匹
のトイプードルと遊ぶのが気分転換
だということでした。

新任教職員 紹介

2012年4月から
新たに本学に着任した教員、
職員を紹介します。



経済学部講師
たむら たいち
田村 太一

担当科目
国際経済論

最終学歴
大阪市立大学大学院
経済学研究科修了

取得学位
博士（経済学）



経済学部講師
わたべ よしき
渡部 芳樹

担当科目
教育学

最終学歴
東北大学大学院教育学研究科
博士課程後期単位取得満期退学

取得学位
修士（教育学）



スポーツ健康科学部講師
くわの ひさこ
桑野 久子

担当科目
英語

最終学歴
学習院大学大学院
人文科学研究科博士後期課程
イギリス文学専攻単位取得満期退学

取得学位
修士（イギリス文学）



教育学習支援センター専任所員
おおの ちあき
太田 千秋

担当科目
キャリアデザイン

最終学歴
早稲田大学大学院
人間科学研究科修士課程修了

取得学位
人間科学修士



教育学習支援センター専任所員
はまの ゆうり
濱野 ゆうり

担当科目
入門ゼミ

最終学歴
筑波大学大学院
修士課程体育研究科

取得学位
体育学修士



学生生活課
かの えりか
鹿野 英里佳

最終学歴
流通経済大学大学院
法学研究科
リーガルガバナンス専攻

所属
学生会/スポーツ観戦サークル



教育学習支援課
かわさき たかひさ
川崎 貴久

最終学歴
流通経済大学
スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科

所属
軟式野球部



新松戸総合事務センター
(入試担当)
ちば ゆういち
千葉 祐一

最終学歴
日本体育大学
体育学部体育学科

前職
流通経済大学付属柏高等学校
保健体育科教諭



新松戸総合事務センター
(学務担当)
てらもと みどり
寺本 翠

最終学歴
流通経済大学
社会学部国際観光学科

所属
国際交流サークル BBC



スポーツ健康センター
つち ひろあき
土井 宏昭

最終学歴
中京大学体育学部体育学科
競技スポーツコース

前職
ITカンファ株式会社
陸上競技部所属



学生生活課
はやし きょうこ
林 京子

最終学歴
国際医療福祉大学
医療福祉学部医療福祉学科

前職
国際メディカル専門学校
看護学科



新松戸総合事務センター
(学務担当)
やしば まり
葭葉 満里

最終学歴
聖徳大学短期大学部
初等教育学科教員養成コース



教務課
わかやま まさひろ
若山 昌弘

最終学歴
流通経済大学
スポーツ健康科学部
スポーツ健康科学科

所属
硬式野球部



Hello!
international
student!



留学生 紹介

vol.18

新松戸キャンパスで経営学を学ぶベトナム出身のタンさん。さわやかな笑顔でインタビューに答えてくれました。

取材：沖野雅広(企画広報室)



「『新聞奨学生』という環境が、
自分の能力を伸ばしてくれたと思います」
経済学部経営学科1年 ファム・トアン・タンさん PHAM TOAN THANG

——日本に留学するキッカケは
なんだったのでしょうか？

子どもの頃から、TVを通して海外（特にアメリカ）に興味があり、「いつかは海外に出て勉強したいなあ」と思っていました。

日本への留学は、朝日新聞社が新聞奨学生の募集をしていたのを知ったからです。住む場所と働く場所を提供してくれる環境、また勉強できる環境に魅力を感じ応募しました。

——「新聞奨学生」というと、かなり忙しい毎日だったのではないですか？

そうですね。朝刊を配るため、深夜に営業所に行き、家に帰る頃には空が明るかったですね。それから、仮眠をとって、日本語学校で授業を受けていました。終了後は、夕刊を配るために営業所に行き夕方まで仕事。そのあとは、日本語の勉強をして、

翌日の仕事に備えて早めに寝ていました。

忙しい毎日でしたが、その分勉強も仕事も集中して取り組むことができたので、今振り返ると貴重な経験になったと思います。

——入学時から新松戸キャンパスで学ぶためには、日本語学校での成績や入試結果も関係してきますが、日本語の勉強はどうしていましたか？

うーん。日本語の勉強は留学が決まった時からスタートしました。ただ、日本語学校での勉強だけではなく、営業所で新聞に触れたことも良かったと思います。毎日、新聞を見て「分からない」「難しい」単語は人に聞いたり、自分で調べたりしていたので、それが日本語の勉強に役に立っただけだと思います。

——流経大では、何を学んでいますか？

ですか？

ゼミでは、「絆」や「人とのつながり」をテーマに討論しています。人の意見を聞くことは、自分には新しいな考え方を教えてくれます。

講義では、「経営学総論」が特に興味深いです。実在する会社の経営について知ることができるので、「経営学」を学びたい私にとっては充実した時間になっています。

——将来はどうしようと考えていますか？

将来は母国のベトナムに戻って仕事をしたいと考えています。そのために、「自分がやりたい」と思ったことはほとんど挑戦していきたい、と思っています。勉強やバイトで忙しいですが、挑戦していくことは、きっと将来の自分の力になると考えているからです。

第5号議案

2012年度収支予算に関する件

2012年度 収支予算書

自 2012年4月1日 至 2013年3月31日

(金額単位：千円)

項目	予算	備考
前年度からの繰越	20,540	
前年度の回収	1,300	
入会金	7,235	新入生1,440名(うち留学生46名)、編入生7名
会費収入	70,881	
計	78,116	
収入合計(A)	99,956	
通信費	3,500	広報誌「RKU Today」送料ほか
印刷費	2,200	広報誌「RKU Today」印刷、総会案内印刷ほか
会議費	200	
事務費	5,000	
父母懇談会費	7,500	会場使用料、案内状・配付資料作成ほか
雑費	300	
小計	18,700	
諸行事後援費	9,000	惜別会、卒業記念品ほか
小計	9,000	
求人開拓費	1,760	求人のための大学案内作成ほか
就職指導費	9,300	業界説明会開催費、指導用学生配布資料作成ほか
小計	11,060	
課外活動補助費	20,000	スポーツ安全協会傷害保険、課外活動用品ほか
大学祭・体育祭補助費	2,000	
クラブ顧問補助費	28,000	クラブ顧問付添費補助ほか
小計	50,000	
環境整備寄付金	2,000	
特別奨学金	0	
支出合計(B)	90,760	
翌年度へ繰越(A-B)	9,196	

第3号議案

2012年度 役員選出に関する件

2012年度の役員が決定いたしました。

会長	小川 達夫
	足立 裕
副会長	東郷 和之
	野友 省男
監事	渡邊 正一
	大野 篤彦

以上

第4号議案

2012年度 事業計画に関する件

2012年度 事業計画

2012年度は、本後援会の目的(会則第3条)及び事業(第5条)にそって、次の1～5に掲げる事業を推進していくものとする。

1 後援会会員(父母)と大学との連携

(1) 父母懇談会の実施に伴う諸費用の援助

開催都市	実施予定日
龍ヶ崎キャンパス	7月 7日(土)
新松戸キャンパス	7月14日(土)
広島市	7月21日(土)
熊本市	7月22日(日)
宇都宮市	7月28日(土)
静岡市	7月29日(日)
秋田市	8月25日(土)
郡山市	8月26日(日)
札幌市	9月 2日(日)
鳥取市	9月 9日(日)
中国・大連	未定

(2) 学報の発行及び費用援助

大学と父母を結ぶ広報誌「RKU Today」(季刊)発行の費用を負担する。

2 就職活動への援助

(1) 求人開拓に関する援助
(2) 就職指導に関する援助

3 課外活動に対する援助

(1) 文化系、運動系クラブに対する援助
(2) 課外活動関係設備を充実するための援助
(3) 課外活動傷害保険料の全額負担
(4) 大学祭等諸行事への援助

4 その他の援助

(1) 環境整備への援助
(2) 卒業生に対する卒業記念品の贈呈、惜別会の開催

5 後援会奨学金

(1) 後援会奨学金の給付

以上

2012年度後援会総会 報告

2012年4月1日に後援会総会が開催され、各議案について審議、承認がされました。流通経済大学後援会は在学生の父母で組織され、大学と各家庭との連携を深め、本学の発展・向上を図るために各種事業を行っています。

第2号議案

2011年度収支決算に関する件

2011年度 収支決算書 自 2011年4月1日 至 2012年3月31日

(金額単位：円)

項目	予算(a)	実績(b)	増減(a-b)	備考
前年度からの繰越	24,804,916	24,804,916	0	
前年度の回収	1,300,000	1,300,000	0	
入会金	7,700,000	7,670,000	30,000	入学者1,550名(うち外国人留学生121名)加えて2年・3年編入学生20名
会費収入	73,050,000	73,310,000	△260,000	入会金・会費免除14名、会費減額21名
利息収入	0	54,008	△54,008	預金利息
計	80,750,000	81,034,008	△284,008	
収入合計(A)	106,854,916	107,138,924	△284,008	
通信費	3,500,000	3,029,551	470,449	広報誌「RKU Today」郵送料、総会通知
印刷費	2,200,000	1,578,106	621,894	上記印刷費等
会議費	200,000	150,885	49,115	
事務費	5,000,000	4,910,000	90,000	
父母懇談会費	7,500,000	4,376,672	3,123,328	父母懇談会の会場費等
雑費	300,000	196,225	103,775	振込手数料他
小計	18,700,000	14,241,439	4,458,561	
諸行事後援費	9,500,000	6,957,605	2,542,395	卒業記念品代、惜別会費用
小計	9,500,000	6,957,605	2,542,395	
求人開拓費	1,760,000	400,088	1,359,912	就職用大学案内作成費等
就職指導費	9,300,000	5,921,177	3,378,823	就職説明会等補助
小計	11,060,000	6,321,265	4,738,735	
課外活動補助費	21,500,000	12,729,534	8,770,466	クラブへの補助、課外活動用品購入
大学祭・体育祭補助費	2,000,000	800,000	1,200,000	つくばね祭への援助、青春祭(中止)
クラブ顧問補助費	28,000,000	27,846,496	153,504	遠征、合宿等の旅費等の補助
小計	51,500,000	41,376,030	10,123,970	
環境整備寄付金	2,000,000	2,000,000	0	
前年度	0	1,300,000	△1,300,000	
税金	0	1,707	△1,707	
特別奨学金基金積増	4,000,000	14,400,000	△10,400,000	
支出合計(B)	96,760,000	86,598,046	10,161,954	
翌年度へ繰越(A-B)	10,094,916	20,540,878	△10,445,962	

財産目録 (2012年3月31日現在)

(金額単位：円)

項目	金額	摘要
(一般資金)		
現金	301,733	手許残高
預金(常陽銀行 龍崎支店)	20,239,145	期末残高
小計	20,540,878	
(育英資金)		
定期預金(茨城県信用組合佐貫支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行龍崎支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行龍崎支店)	15,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行龍崎支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(常陽銀行龍崎支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(千葉銀行柏支店)	10,000,000	育英基金
定期預金(千葉銀行柏支店)	15,000,000	育英基金
定期預金(千葉銀行柏支店)	5,000,000	育英基金果実
普通預金(茨城県信用組合佐貫支店)	3,009,932	育英基金果実
育英基金貸付金	1,695,000	5名
小計	89,704,932	
合計	110,245,810	
負債の部	0	
差引正味財産	110,245,810	

監査報告書

流通経済大学後援会会則第10条第3項の規定により、2011年度流通経済大学後援会収支決算について諸帳簿を監査した結果、その内容についてはいずれも正当なもの認め、第13条の規定により報告いたします。

2012年3月29日

監事：東郷和之 監事：野友省男

以上

第1号議案

2011年度 事業報告に関する件

2011年度 事業報告

2011年4月16日開催の後援会総会において、ご承認いただいた事業計画にもとづいて、次のとおり2011年度の事業を実施した。

1 後援会会員(父母)と大学との連携

(1) 父母懇談会の開催状況

開催都市	実施日	父母出席者数
新松戸キャンパス	10月15日(土)	307名
大阪市	11月 5日(土)	16名
福岡市	11月 6日(日)	23名
山形市	11月12日(土)	23名
盛岡市	11月13日(日)	21名
龍ヶ崎キャンパス	11月19日(土)	189名
新潟市	11月26日(土)	15名
中国・大連	9月18日(日)	10名
8会場		604名

(2) 学報の発行及び費用援助

大学と父母を結ぶ広報誌「RKU Today」(季刊)発行の費用を負担した。

2 就職活動への援助

後援会発足以来の重点施策の一つである大学の求人開拓や就職指導に関して全面的に協力し、併せて費用の一部を負担した。

3 課外活動に対する援助

(1) 文化系、運動系クラブに対する援助
大学の課外活動振興が円滑に推進できるよう、文化系、運動系クラブに備品を購入する等の援助をした。
(2) 課外活動関係設備を充実するため援助した。
(3) 課外活動傷害保険料を全額負担した。
(4) 諸行事への援助
大学恒例の大学祭である龍ヶ崎キャンパス「つくばね祭」等の行事に対して援助金を交付した。

4 その他の援助

(1) 環境整備への援助
(2) 卒業生に対する卒業記念品の贈呈

5 奨学金

(1) 後援会奨学金の貸与
(2) 後援会奨学金基金の積み増し
(3) 東日本大震災で被災した学生に対する特別奨学金の給付
特別奨学金給付対象者 58名



全学

7月

14日 ●春学期授業終了
17日～30日 ●春学期定期試験
31日～9月19日 ●夏季休業

9月

20日 ●秋学期入学式
秋学期授業開始
29日 ●春学期卒業式

就職関連

就職ガイダンス

- エントリーシート対策
- 4年生内定者による就職活動体験発表会

【校友会からのお知らせ】

平成24年4月1日付で校友会の新役員が決まりました。
新会長は佐藤克實(さとうかつみ)さん(本学1期生)です。
新副会長は田中博也(たなかひろや)さん(本学4期生)です。

本誌は今号で創刊から5年の節目を迎えました。この機会に5年間、20号分の表紙イラストを提供していただいた佐々木悟郎氏のプロフィールをご紹介します。これからも佐々木氏の描く表紙にご期待ください。

■佐々木悟郎(ささきごろう)

1956年、岐阜県出身。愛知県立芸術大学デザイン科卒業後、アートセンター・カレッジ・オブ・デザイン(米国カリフォルニア州)を卒業。イラストレーターとして書籍カバーやCDジャケット、記念切手、ミュージカル「アスベツツ・オブラブ」ポスターなど、幅広い分野で活躍中。著書に「いつもジャズが聞こえていた」(東京書籍)、「ソングストウーリメン」(ヤマハミュージックメディア)などがある。



【編集後記】

●新学期が始まったのが、ついこの間のこのように思っていたのが早いものでもう春学期の定期試験の時期になりました。

今学期の定期試験は、7月17日(火)から30日(月)までとなっています。試験期間前から両キャンパスの図書館で試験勉強に取り組む学生諸君の表情は真剣そのものです。

日頃の努力の成果を発揮することを大いに期待したいと思います。

●欧州の財政・金融危機等による諸々の影響を受け、内外の政治、経済は流動的な状況下にありますが、一刻も早く事態が収束し、欧州はもちろんのこと我が国そして諸外国の政治、経済が安定し、更に良い方向へ転ずることを切に望まざるにはられません。

●東日本大震災の被災地では、まだ多くの方が仮設住宅での不便な生活を強いられています。また、被災地の基幹産業の立ち上がりもまだ本格的とは言えない状況にあるようです。我が国の総力を結集して被災地の一日も早い復興・復興と今後の防災対策の充実を強く望む次第です。

(編集子)

2012年度入学式

1

青春祭

5

6月16日、17日の2日間、新松戸キャンパスの学園祭「青春祭」が開催されました。

地域の方々や卒業生にも多数ご来場いただき、盛況のうちに終了しました。



ロンドン行き決定

6

本学学生、関係者の出場が決定しました。

■男子柔道-81kg



中井貴裕さん
法学部ビジネス法学科4年

■トライアスロン



ナウル・チョサテキさん
(フィジー代表)
2007年度経済学部卒業
(株)Win Net Technology所属

田山寛豪さん
2003年度社会学部卒業
本学職員

■サッカー



山村和也さん
2011年度法学部卒業
鹿島アントラーズ所属

【試合日程】

男子柔道81kg級	7/31(火)	10:00～12:00
トライアスロン	8/7(火)	11:30
	7/26(水)	14:45
サッカー	7/29(日)	17:00
	8/01(水)	17:00

※全て現地時間です。

交換留学生受入式

3

本学の協定校である東北財経大学、海南大学からの交換留学生受入式が行われました。留学生からは、「日本で学べる機会に感謝し、日本の文化をたくさん吸収したい」と抱負が述べられました。



岡野功名誉教授が名誉市民に

4

龍ヶ崎市のスポーツの振興と発展に寄与したとして、本学名誉教授の岡野功氏が市から名誉市民の称号を贈られることとなりました。

岡野氏は1997年から本学柔道部の監督(現在:師範)として学生たちの指導に携わり、オリンピック日本代表を送り出すなどの功績を残しています。



RKU WEEK

2

今年度のRKU WEEKは、4月2日から7日まで実施されました。RKU WEEKは、新入生を対象に入学式直後に約1週間をかけて行われ、大学生活への移行が円滑に進むこと、勉強意欲を高め仲間作りの場を提供すること、さらには本学への帰属意識を高めること等を目的とするものです。

内容は多岐にわたっており、様々なプログラムに取り組む新入生の眼差しは真剣そのものでした。





OPEN CAMPUS 2012

オープンキャンパス開催中



流通経済大学では新松戸、龍ヶ崎の両キャンパスでオープンキャンパスを開催しています。
充実したメニューを用意して学生アドバイザーを中心としたスタッフがお待ちしておりますので、お気軽にご来場ください。

新松戸キャンパス

千葉県松戸市新松戸3-2-1

7月 28日 土

8月 5日 日

25日 土

9月 8日 土

龍ヶ崎キャンパス

茨城県龍ヶ崎市平畑120

7月 21日 土

8月 4日 土

18日 土

9月 15日 土

〈開催時間〉 **10:30-15:00**

〈主なメニュー〉

- ゼミ・授業体験
- 学部学科発見コーナー
- 学食体験
- 個別相談・フリートーク・キャンパスツアー など

★開催日によって各学部学科のスペシャルイベントも企画しています。

入試相談会も両キャンパスで開催中

[平日] 9:00 ~ 17:00

[土曜日] 10:00 ~ 14:00

(オープンキャンパス開催日は10:30 ~ 15:00)

※開催日はホームページでご確認ください。

RKU Guide Book 2013

(大学案内)

入試センターまでお電話かEメールにてご請求ください。
大学のホームページからお申し込みいただくこともできます。

(送料とも無料)



AO入試ガイド

ご希望の方は入試センターまでお問い合わせください。



流通経済大学入試センター

☎ **0120-297-141**

✉ ees@rku.ac.jp

🌐 <http://www/rku.ac.jp/go>

📱 <http://www/rku.ac.jp/go/m>



RKU RYUTSU KEIZAI UNIVERSITY

流通経済大学広報誌 **RKU Today vol.20** 2012年7月発行

編集・発行/学校法人日通学園 流通経済大学企画広報室

茨城県龍ヶ崎市平畑120 〒301-8555 TEL: 0297-64-0001 (代表)

